

持続可能な都市交通にむけて

### **Girija Prasad Gorkhaly**

Joint Secretary, Ministry of Urban Development, Government of Nepal

### ネパールの紹介

# ネパール

- ■147,181 sq km;
- ■26.6 百万人
- ■都市人口: 17% (municipal)
- ■予想都市人口: 24%(6% の成長率)
- ■カトマンズ渓谷は最も人口の多い都市域; 国の人口の50%を占める。





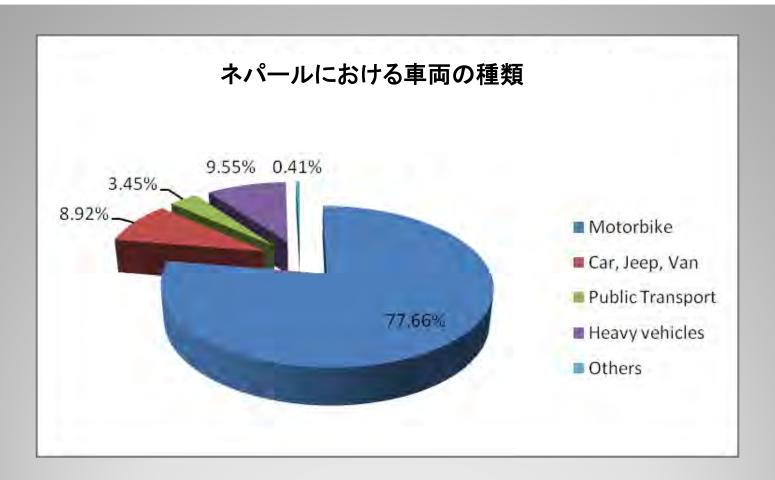


- ネパールにおける主要な交通手段は、徒歩を除けば、道路と空の交通機関である。
- 政府は、主に国道と交通システムに重点化している。
- 急速な都市化により、都市道路とインフラの整備が 急務である

## 概要

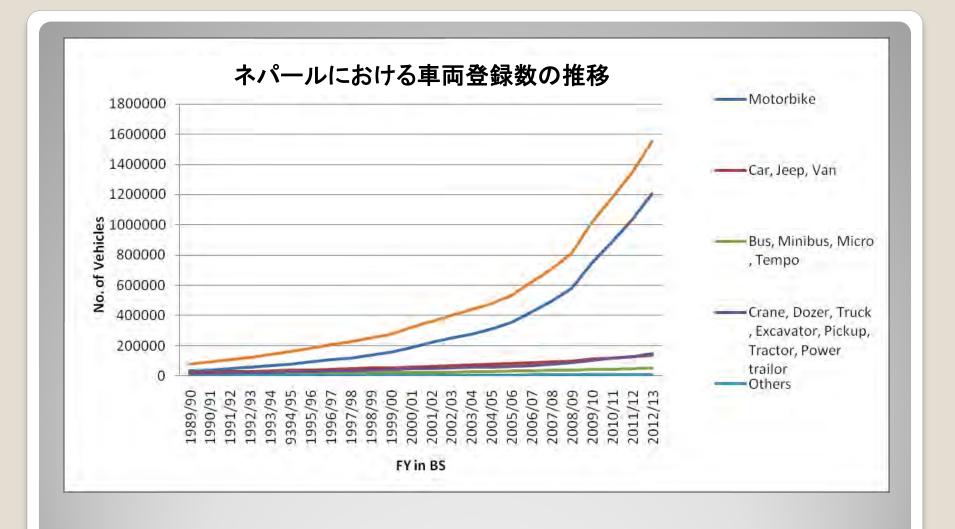
- 混合交通; あらゆる方向にあらゆる交通が走る。
- 限られたインフラ
- 交差点に渋滞が集中
- 大気汚染
- 道路安全
- ・地方政府にとって交通対応は困難。



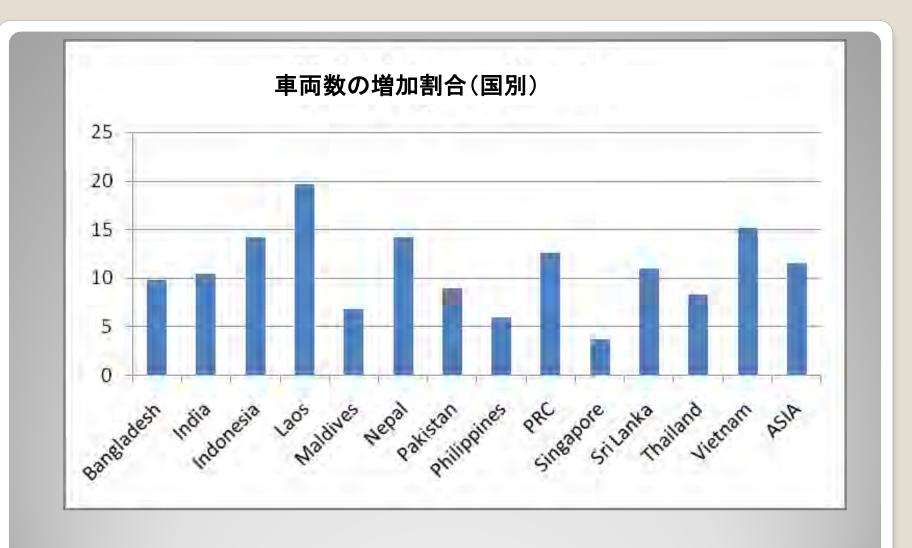


2012/13現在: 総登録数は1,555,000

# ネパールにおける車両登録



# 車両数の増加



# 車両数の年間増加率

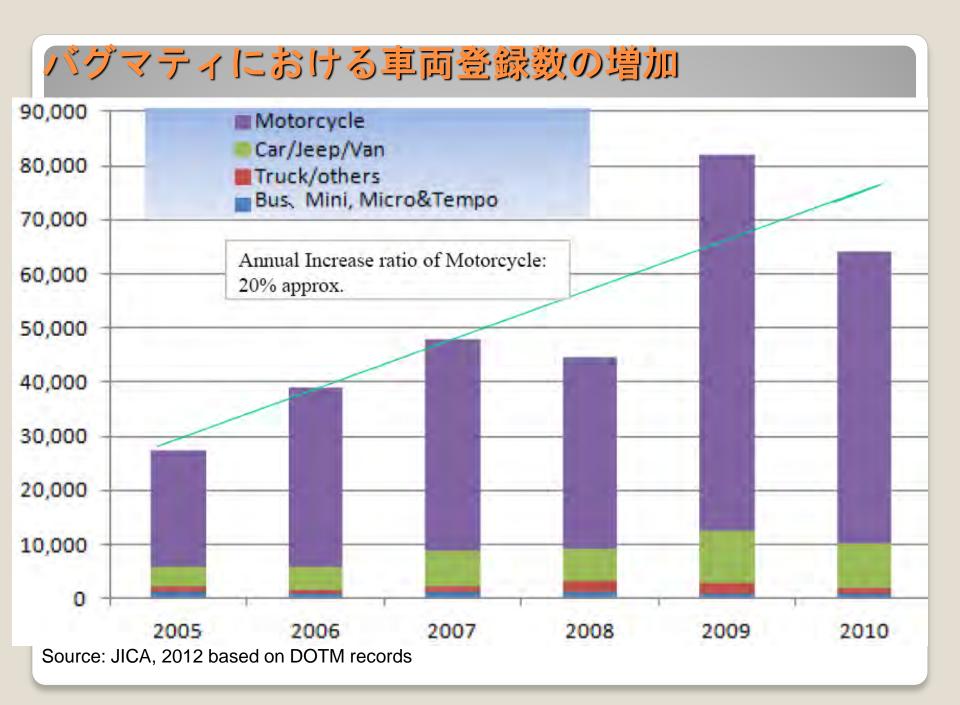
### カトマンズ

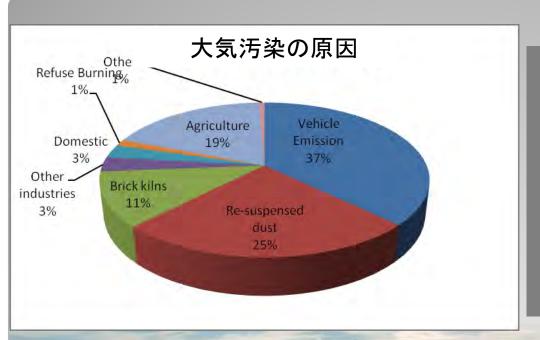
- 徒歩は25%減少
- 自転車は1/4に減少
- バイクは3倍に増加
- 車&公共交通は変化無し



# 移動手段の変化(@カトマンズ渓谷)

Source: JICA, 2012





カトマンズ渓谷は大気汚染の影響を受けやすい

自然発生要員 地形、高度、気候

人的要因

- 主な懸念点は微粒子
- MOEST, 2005: 年間1600人 が 早死



# カトマンズにおける大気質

### 交通の管轄部局:

- 交通管理局
- 道路局(主に幹線道)
- 鉄道局 (新設)
  - 自治体

都市交通システムを管理する独立した部局が存在しない。

都市交通局-

■ 都市道路部門

# 機関の概要



近況: 劣悪な道路使用状況



Traffic congestion is everyday ordeal in Kathmandu Valley

### 無秩序な交通



歩行者や自転車が使いづらい道路

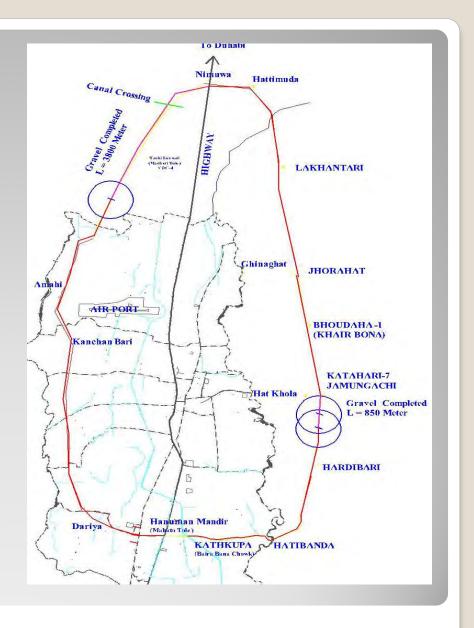




- ・土地利用と交通の調整
- 交差点の計画と規制
- 公共交通インフラを整備
- モーターに拠らない乗り物を促進
- ・都市交通に民間を活用
- 都市道路の規準やマニュアルを整備
- 広域型都市交通の開発



- 道路整備と土地利用 の融合事例-
  - ビラートナガル環状道路 (42 Km.)

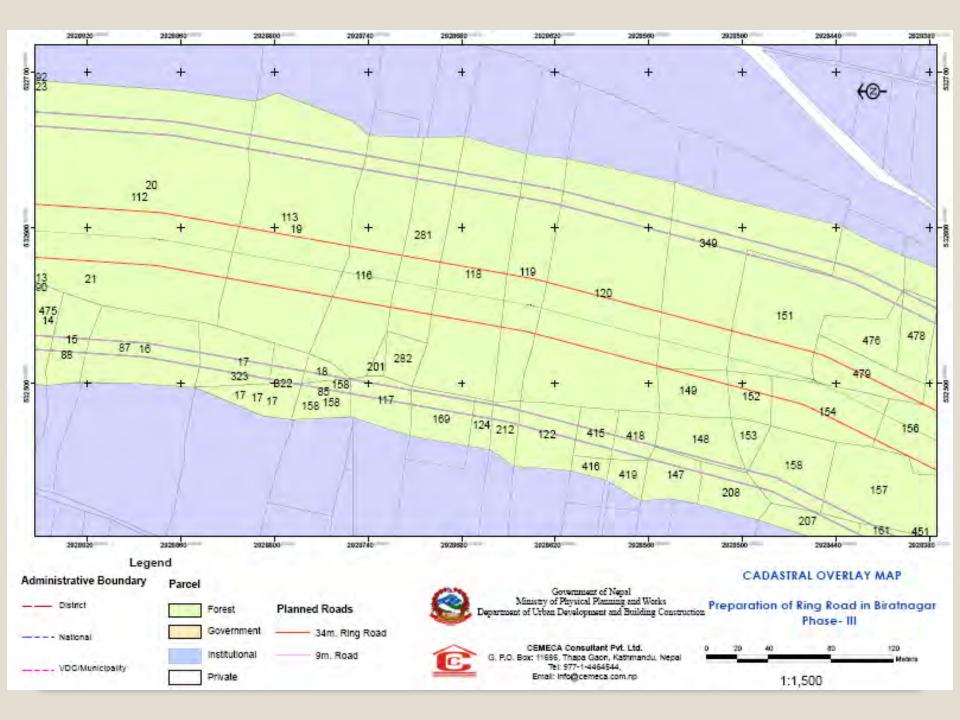


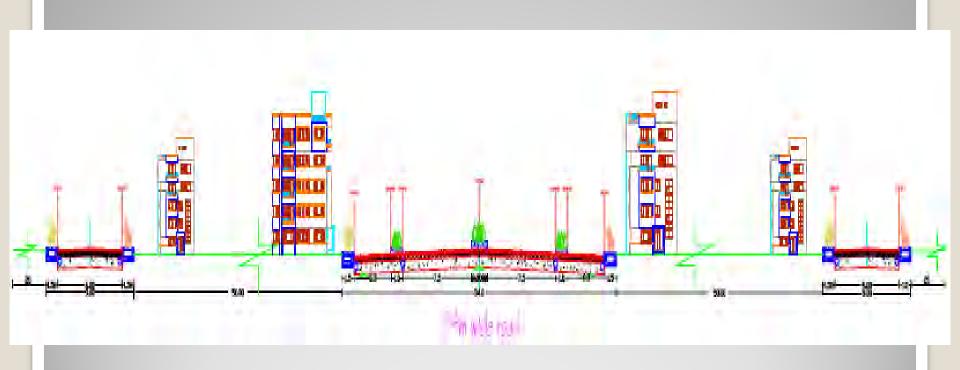












並列する環状道路 34m

- 公共交通の向上-
  - ルートの再構築
  - 公共交通運行者のフランチャイズ化
  - 公共交通インフラ
- 道路キャパの拡大 36の交差点, 22の信号機, 6つの中央ブロック、横断歩道、CCTV カメラ, ルールの施行
- 駐車マナーの向上、pppを通して多層駐車場を展開し、都市中心部の歩 行者専用道の促進
- 歩きやすいコミュニティ形成の支援 歩行者専用道
- 関連機関の能力向上

# Project is trying to reduce travel demand?











Promoting cycling culture on the occasion of International Day of the Girl Child

NMTの促進

- JICAによるカトマンズ交通マネジメント計画支援
- 土地区画整理を施行
- 日本の様々な機関によるインフラのコストの分担
- 都市開発局に都市交通部門を設立

# 日本と協力可能性のある分野

